

この解析を依頼される方へ

ヒトのアルドステロン合成酵素 (CYP11B2) を検出する免疫組織化学染色 (ヒト以外の動物種には働きません) は、慶應義塾大学医学部の向井邦晃氏と埼玉医科大学国際医療センター泌尿器腫瘍科の西本紘嗣郎氏が作製したモノクローナル抗ヒト CYP11B2 抗体を、両氏から無償で提供していただいております。したがって、ここで提供している染色サービスの費用には抗体代が含まれていません。この抗体を用いた最初の研究成果を論文あるいは学会発表等で公開する場合には、向井邦晃氏と西本紘嗣郎氏を貢献者としてくわえていただけたら幸いです。さらには、すべての成果は以下のリストに加えさせていただけたらさらに幸いです。

なお、この抗体作製の詳細は参考文献 [1] に記載されております。現時点で、この抗体は参考文献 [2,3] の研究成果に使用されております。なかでも参考文献 [2] で使用された、85 例の解剖症例から摘出された正常副腎の CYP11B2 染色画像のデジタルデータは自由にダウンロードできます (Leica Biosystems 社より無償で提供されている専用の viewer を使用して閲覧ください: <https://www.leicabiosystems.com/digital-pathology/manage/aperio-imagescope/>)。

参考文献

1. 西本紘嗣郎, 林泰樹, 北村陽典, 内田厚, 向井邦晃. 【原発性アルドステロン症診療の進歩】 原発性アルドステロン症の診療におけるアルドステロン合成酵素免疫染色法の意義. 血圧 2017; 24:861-868.
2. Hayashi T, Zhang Z, Al-Eyd G, Sasaki A, Yasuda M, Oyama M, et al. Expression of aldosterone synthase CYP11B2 was inversely correlated with longevity. The Journal of steroid biochemistry and molecular biology 2019; 191:105361.
3. Uchida N, Amano N, Yamaoka Y, Uematsu A, Sekine Y, Suzuki M, et al. A Novel Case of Somatic KCNJ5 Mutation in Pediatric-Onset Aldosterone-Producing Adenoma. Journal of the Endocrine Society 2017; 1:1056-1061.

連絡先 (email)

- 西本紘嗣郎: kn7961@5931.saitama-med.ac.jp
- 向井邦晃: k-mukai@keio.jp